

令和8年度病害虫発生予察特殊報第1号

令和8年4月23日
千葉県農林総合研究センター長

Heterodera cruciferaeによる ダイコンの黒色小斑点の発生について

- 1 病害虫名： 和名無し（英名：cabbage cyst nematode または brassica cyst nematode）
- 2 学名： *Heterodera cruciferae* Franklin
- 3 作物名： ダイコン
- 4 発生確認の経緯及び国内での発生状況
 - （1）令和6～7年にかけて県内ダイコン生産ほ場において、収穫時に根部表面に黒色を呈する小斑点（写真1）が認められた。
 - （2）被害発生ほ場から採取した土壌を調査したところ、他の植物寄生性線虫と比較して高密度の *H. cruciferae* 2期幼虫（写真2）が検出された。
 - （3）本線虫の汚染土壌でダイコンを栽培したところ、葉数や根部重の減少とともに、根部表面に前述と同様の黒色小斑点が再現された（写真3）。
 - （4）県内における本線虫の発生については、令和5年5月25日にアブラナ科野菜残さの細根や土壌からシスト（写真4）が検出され、令和5年9月4日付け令和5年度病害虫発生予察特殊報第2号を発表した。農作物での被害は、今回初めて確認された。
- 5 形態

シストは体長0.6mm程度、体幅0.4mm程度の褐色のレモン型で、細根に着生するほか、容易に脱落して土中で生存する。分離したシストから回収した2期幼虫は体長0.4mm程度である。
- 6 被害

海外の文献では、アブラナ科植物にのみ寄生し、根量の減少や生育不良を引き起こすことが報告されている。今回の被害は根部表面に黒色の小斑点を発生させるものであり、一部の細根ではシストが形成される場合もある。

キタネグサレセンチュウの被害は水疱状の斑点を呈し、その後中心部が黒変するため、区別できる。
- 7 まん延防止対策
 - （1）トラクタや管理機に付着した土壌は必ず移動前にほ場内でよく落とす。
 - （2）残さは、ほ場外へ搬出せずにすき込む。
 - （3）発生が確認されたほ場では、土壌消毒を実施し、アブラナ科植物の栽培を避ける。



写真1 ダイコン生産ほ場での本線虫による根部表面の黒色小斑点



写真2 本線虫の2期幼虫（赤矢印）周囲の楕円形は卵



写真3 本線虫の汚染土壌で再現されたダイコン根部表面の黒色小斑点



写真4 本線虫のシスト

- ・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>

問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

